

日本一長い運河「貞山運河」への桜植樹について

ていざん



震災前
貞山運河（木曳堀）の美しい松並木



震災前
貞山運河（新堀）と井土浦（干潟）

貞山運河，東名運河，北上運河は，全長約49kmにわたり仙台湾沿岸を繋ぐ，日本一の運河群です。

古くは舟運を目的として，約400年前，仙台藩主伊達政宗の命により建設が始まり，現在まで，豊かな自然環境を有する土木遺産として多くの人に愛されてきました。



毎日新聞社提供
貞山運河（木曳堀）への津波第一波の襲来（仙台空港付近）



ガレキで埋めつくされた東名運河

東日本大震災の大津波によって，甚大な被害を受けました。

宮城県では，運河とその周辺地域を東日本大震災からの復興のシンボルと位置付け，未来に向けた「**鎮**魂と**希**望のエリア」として再生するため，運河沿いに桜を植樹する取組みを進めています。

～運河への桜植樹～

桜植樹のイメージ

桜植樹の活動

みんなで桜を植えよう！！
～皆様の協力を募集しています～

募集内容

桜植樹 ボランティア	寄附金
苗木などの 資機材	桜回廊 サポーター

詳しくは→ [貞山運河桜](#) または